

ODA 評価の新たな時代
 ～DAC 評価項目の SDGs への適合の議論とその背景～

講師： 村岡 敬一（むらおか けいいち）氏
 外務省大臣官房 ODA 評価室 室長
 DAC 開発評価ネットワーク 副議長

日時： 2019 年 4 月 19 日（金）
 12 時 30 分～14 時（開場 12 時）

場所： FASiD セミナールーム

言語： 日本語

参加費： 500 円（賛助会員 無料）

定員： 40 名（先着順・要申込み）



*手話通訳の配置が可能です

経済協力開発機構／開発援助委員会（OECD-DAC）の「評価 5 項目（妥当性・有効性・インパクト・効率性・持続性）は、長年 ODA 評価の基準となってきましたが、最近では、DAC 開発評価ネットワーク（EvalNet）を中心に、DAC 評価 5 項目を巡って国際的な議論が進められています。この背景には、2015 年 9 月に国連サミットで「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられたことにより、MDGs よりはるかに複雑な SDGs をいかに評価していくか、国際社会から高い関心が示されているという状況があります。

SDGs の時代において、ODA 評価にはどのような変化が求められているのでしょうか。

今回の BBL セミナーでは、外務省 ODA 評価室から、EvalNet の副議長である村岡敬一氏をお招きし、DAC 評価 5 項目を巡る議論の背景、SDGs への適合に向けた EvalNet の取組と課題、今後の展望についてお話いただき、参加者との間で意見交換を行う予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

■講師略歴：

横浜市立大学文理学部卒業、1980 年国際協力事業団（現国際協力機構：JICA）入団。エジプト大使館、国連代表部出向の後、企画評価部、オーストリア事務所、広報室、公共政策部、九州国際センター、評価部を経て 2015 年に退職。同年外務省（現職）に採用。2017 年より EvalNet 副議長。

参加ご希望の方は 2019 年 4 月 18 日（木）12 時までに、以下 URL 内のオンラインフォームよりお申し込み下さい。なお、昼食は各自ご持参下さい。会場の都合でご参加頂けない場合のみ、事務局よりご連絡いたします。

■関連 URL：http://fasid.or.jp/seminar_info/206_list_detail.html

お問い合わせ先

一般財団法人国際開発機構（FASiD）国際開発研究センター 担当：日野/浜岡
 〒106-0041 港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6 階 最寄駅：地下鉄神谷町、赤羽橋
 Tel: 03-6809-1997 Fax: 03-6809-1387 Email: bbls@fasid.or.jp
 地図：http://www.fasid.or.jp/about/8_index_detail.shtml